

共同研究 事例紹介



佐藤鉄工株式会社
SATO TEKKO CO.,LTD.

■共同研究のきっかけ■

県立大学で行われていた「卒業論文テーマ募集事業」に応募し、採用されたのがきっかけで共同研究が始まりました。数年前までは大学という「教養を請う」というイメージでしたが、現在は「相談のついで頂ける相手」といった気軽であるが頼もしいイメージになりました。

■共同研究を行なってみて■

「ものづくり」という基本的な目的は変わらないのですが、これまでの当社単独での研究開発では、トライ＆エラーの繰り返しが多く、「どうしてこうなるのか」という理論的な研究までに踏み込むことができないことが多かったように思います。今回、共同研究を行ってみてベースとなる理論を商品開発に取り入れることによって、狙い通りの品質改良を行うことができるようになりました。既存技術を活用した開発を行う際でも、理論をしっかりとおさえることにより、狙い通り、短期間で開発ができるようになったと思います。

これまでのトライ＆エラーの繰り返しが少なくなり商品開発においてもPDCAがスムーズに回り始めたと感じています。

■今後の展望■

今後は現在開発を進めている機械を必ず商品化することが目標です。既存の大型製品を小型化したものですが、ベースとなる理論をおさえることができたので、必ず発売まで漕ぎ着けることができるとしています。

また、今後も大学とは技術開発や研究において、さらに交流を深め、客先のニーズと大学の持つシーズを活用して新商品を生み出せる様に気軽にキャッチボールを行えるような関係を維持していきたいと考えています。

担当教員の声



〈坂村助教〉(右)
〈舟渡助手〉(左)

共同研究は、基本的には企業様の事業発展のために大学が支援するものです。今回の共同研究も破砕のメカニズムを調べ、その結果を機器の最適運転条件の設定などに役立てることを主な目的としています。

しかし、今回の研究を通して、我々は「粉体破砕の物理」という未知の研究分野に接する機会を得ることができ、学術研究の新たな方向性を見出すことができました。このような相乗効果も、共同研究の重要な成果だと考えています。



**NES 日本エレクトロニクス
サービス株式会社**

■共同研究のきっかけ■

中野先生とは今回の共同研究以前から長くお付き合いがありました。当社で考えたビジネス企画を先生に批評頂き、多くのディスカッションを重ねアイデアの醸成を行っています。期間を区切った短期的なお付き合いではなく、継続的なお付き合いをさせて頂くことで、お互いの理解度も高まり、ビジネス展開が行いやすくなるのではないかと考えております。

■これまでの成果■

近年では、中野先生の研究室、弊社、そして高岡市などと共同で行ったe-まちづくり『オンストア放送局』が印象に残っております。これはIT技術を利用した街づくり事業の一環として行ったものです。パソコン操作が不要な簡単ビデオ投稿システムで、店主の方々が自由・気軽にビデオCMなどを流すことができるものです。HPに自動的にUPされるシステムも組み込むことができ、世界でたった一つのものになりました。現在は、その発展型として富山市市民プラザ様に設置されており、ケーブルテレビ富山線の『eまちBOX』として活躍しています。

この技術のように、地域に必要性が高い技術でも市場性を考慮すると、企業単独で開発を行うにはリスクが大きい事があります。このような場合、大学のスキルを応用して製品化を行うことは重要なことだと思います。

■今後の思い■

今後は、当社の強みである企画提案力を生かし、現状のソフト分野だけに捉われず、ハード面を含めた様々な可能性を追求して、地域の情報産業発展に寄与するべく努力していきたいと思えます。汎用機器を活用した地域連携医療システム『遠隔読影オンラインカンファレンス』も大学と協力しながらより発展的、高度化への対応を進めていきたいものです。一つ一つテーマを絞り、市場に出すための製品・品質レベルの向上が今後の課題です。



〈中野教授〉

研究開発で大切なことは、いいアイデア、いい企画とそれを具現化する実用化技術であると考えています。この点から、企業と大学が連携して技術開発が行われることは必然なことだと考えています。

また今後は一歩踏み込んで、企画段階から連携することにより、さらに効果的で、よりよい技術開発を行うことが可能になります。そのためには大学と企業との多面的で、密接な交流がこれからより一層必要だと考えています。

Information

研究協力会よりお知らせ



企業見学会を開催しました。

10月12日(木)、㈱日立国際電気 富山工場を訪問しました。
富山工場は平成元年に設立され、半導体製造装置の開発、設計、生産を行っています。研究協力会会員(22名)、県立大学教員(4名)、地域連携センター産学官連携コーディネーター、学



第3回産学連携 マッチング会議を開催しました。

10月25日(水)、県立大学で地域連携センターと共催により、産学連携マッチング会議を開催しました。研究協力会会員、大学関係者79名が参加しました。
第1部として、地域連携センター所長によるセンターのこと業紹介の後、新任教員を中心とした県立大学教員10名より研究シーズ紹介がありました。
第2部として、会員企業3社より産学連携の取組状況について発表があった後、意見交換を行いました。
第3部として、会員と教員の交流会を開催しました。



第3回リエゾンサポーターリーダー 定例会を開催しました。

11月21日(火)、県立大学で開催しました。リエゾンサポーターリーダーには、産業界の研究開発ニーズの把握、リエゾンサポーターとの相互連携の促進など、県立大学と研究協力会との産学連携をサポートして頂いています。
リエゾンサポーターリーダー会議では、県立大学における産

